

第1回北広島市史跡旧島松駅通所保存活用計画に関する懇話会

日 時	令和6年10月11日(金) 15:00～
会 場	広葉交流センター2階 研修室/史跡旧島松駅通所(北広島市島松1番地)
出 席 者	座長:角 幸博 副座長:藤井 浩 構成員:平井 卓郎、森 朋子、圓谷 昂史、中井誠一
オブザーバー	北海道教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課 専門主任:内田 和典 北広島市建設部都市整備課長:北口 馨 北広島市建設部建築課長:瀬田松 秀一 北広島市建設部建築課 主査:真田 朋幸 工事監理業者:北電総合設計株式会社 工事施工業者:亀田工業株式会社
事 務 局	エコミュージアムセンター センター長:渡邊 篤広 主査:畠 誠(学芸員) 主任:黒田 弘子(任期付き学芸員) 主任:吉村 くるみ(学芸員)
会議次第	1 開 会 2 本懇話会について 3 構成員自己紹介 4 座長、副座長選出 5 報告 ・工事の進捗状況について(史跡旧島松駅通所現地視察) ・津別での工場視察について 6 議事 ・バリアフリー対応について 7 その他 8 閉 会

1 開会

2 本懇話会について

事務局より資料1に沿って説明

3 構成員自己紹介

4 座長、副座長選出

北広島市史跡旧島松駅通所保存活用に関する懇話会開催要綱に基づき次のとおり選出

座長:角 幸博 副座長:藤井 浩

5 報告

- ・工事の進捗状況について(史跡旧島松駅通所現地視察)

亀田工業株式会社、市建築課より工事進捗状況について報告

- ・津別での工場視察について

事務局より、加賀谷木材株式会社津別工場の視察(令和6年10月16日)について説明

- ・ 構 成 員：視察状況について、動画撮影などの記録はするのか。
- ・ 事 務 局：撮影禁止部分に留意しながら、記録として写真や録画を行う予定である。

## 6 議事

- ・ バリアフリー対応について  
事務局より資料2に沿って、バリアフリー検討の経緯、文化庁ほか関係機関からの助言、市の現在案について説明
- ・ 構 成 員：現場でみた限り入口と井戸との距離が近いと、スロープ設置における傾斜角度の設計は苦勞されると思うが、ルート等については承知した。スロープはコンクリート製を想定しているか？
- ・ 事 務 局：取外し可能なものを、その都度設置する方向で想定している。
- ・ 構 成 員：承知した。主屋と井戸では井戸の方がレベルが低い。段差ができると春先の雪解けで水がたまり、井戸脇の地面の木部が傷むことが考えられる。可能であれば多少なりとも排水が可能な対応ができると良いかと考える。
- ・ 事 務 局：検討する。
- ・ 構 成 員：通常のバリアフリーの考え方では、現状の勾配ではスロープの長さが相当なものになると思われるが、どうか。
- ・ 事 務 局：ご指摘のとおり、自走式を想定すると井戸があるためスロープの距離が十分に取れないと考えられる。ただし本史跡は管理人が常駐する施設であることから、福祉スロープの対応ではなく、介助者がいる前提の距離を短縮したスロープの設置を検討している。
- ・ 構 成 員：半埋め込み型のリフトの設置や、土地の嵩上げなども場合によっては検討しても良いかと考える。
- ・ 事 務 局：砂利対策やゴムマット使用などの課題とあわせ、主屋工事後、周辺整備の段階にて検討する。
- ・ 構 成 員：車椅子ユーザーが来た際にどのようなスロープを設置することを想定しているのか。
- ・ 事 務 局：アルミ製などを候補としているが、管理人は高齢の方が多いことから、運用上の問題が出ないように検討していきたいと考えている。
- ・ 構 成 員：土間からの観覧の際に説明版で視界が遮られることなどが無いよう、土間からでも十分中の様子がわかるよう検討いただきたい。  
車椅子の通行にあたり、何度も通行することで轍となってしまう可能性など、土間（ニワ）のたたきの強度は問題ないか。
- ・ 事 務 局：強度は問題ないかと考える。事務局にて手入れしてきた実績もあるため、運用側にて対応可能と考える。
- ・ 構 成 員：現状ではリフトの設置が難しいとのこと、承知した。ただし将来的に設置する場合を考え、現時点で電源確保などのみでも対応してはと思うが、どうか。
- ・ 事 務 局：リフト設置には地面を深く掘る必要があることから、史跡内での設置は難しい面がある。設置可能な場所も限られ、かつその場所は意匠的に問題がある。将来的に技術革新で対応可能となった際に、今一度検討する。

7 その他

- ・ 事務局：次回の開催は1月下旬から2月上旬での開催を予定。

8 閉会